




ボイスオーバーネットワークソリューション  
**SOLVONETシリーズ簡易操作説明書**  
**(EX/S/Mタイプ)**



◆ご注意

- (1) 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- (2) 本製品の故障や誤動作、停電あるいは、天災などにより、本製品が使えなかったことによる付随的損害保証については当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- (3) 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので絶対におやめください。
- (4) 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申し付けください。
- (5) 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (6) 本書に記載されている機能については、事前にプログラム設定が必要な機能がござい、プログラム設定につきましては、販売店にご相談願います。

**サクサ株式会社**  
**お客様相談室**




電話  **0570-001393**  
**050-5507-8039**

2009. 1. 20発行 V1. 1



# 1. カレンダー・時刻登録

システム管理電話機からの操作になります(お買い上げ時は内線番号が最若番号)







1.  →  

→スピーカランプ:赤点灯

日時変更  
 2003年01月01日  
 00時00分

2. **ダイヤルボタンで日時・時刻を登録**  
 例: 2008年5月7日 9時30分

①ダイヤルボタンで西暦(下2桁)と日時を登録

→スピーカランプ:赤点灯

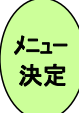
日時変更  
 2008年05月07日  
 00時00分

②ダイヤルボタンで時刻を登録(24時間制)

→スピーカランプ:赤点灯

日時変更  
 2008年05月07日  
 09時30分

3.  「ピー」と音がなります

→スピーカランプ:赤点灯

4. 

## 2-1 システム短縮ダイヤル登録



システム管理電話機からの操作になります(お買い上げ時は内線番号が最若番号)

→スピーカランプと内線ランプ:赤点滅

1. → **3 1 1**

相手番号

2. 登録する電話番号をダイヤルする(最大32桁)  
例 03-1000-1111

相手番号  
0310001111

3. → **2**

名称(漢字) (漢)  
■

4. 相手先名称を登録

・ダイヤルボタンで登録する文字を選択

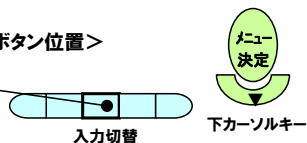
文字変換は カーソルキーで変換

・文字入力モード切替は で切替

・登録する文字が決まりましたら を押す

名称(漢字) (漢)  
サクサ

<入力切替ボタン位置>



5. → **3**

短縮番号  
No:---

・登録する短縮番号をダイヤルする(000~999)

登録できる件数は500件になります  
但しSOLVONET-Sバージョン1.0の登録数は  
300件となります

<短縮番号001の場合>

短縮番号  
No:001

6. 「ピー」と音がなります

## 2-2 短縮ダイヤル変更・削除



システム管理電話機からの操作になります(お買い上げ時は内線番号が最若番号)

1. → **1 2**

短縮No  
No:---

2. 変更・削除する短縮番号を指定し を押す

短縮No  
No:001

サクサ

3. 内容変更または登録削除を選択

編集メニュー  
1:内容変更  
2:発信種別変更  
3:登録削除

### ○変更する場合

**1**

↓ 変更したい項目を選択します

**1** 相手番号の変更

**2** 相手名称の変更

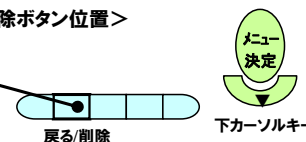
↓

キーで内容を削除し内容を変更し を押す

**3**

「ピー」と音がなります

<戻る/削除ボタン位置>



### ○削除する場合

**3**

「ピー」と音がなります

# 3. ワンタッチ登録・変更・消去



## ワンタッチ登録方法

1. **5** →
  - 3 内線番号
  - 4 外線番号
  - 5 短縮番号
2. 割り付けたいフレキシブルキーを押す

外線番号を選択した時の表示画面

オートダイヤル割付  
F--:

## 3. 登録したい電話番号をダイヤルする(32桁)

例 03-1000-1111

- 4.
5. 「ピー」と音がなります
- 6.

ファンクション割付  
F20:  
  
0310001111

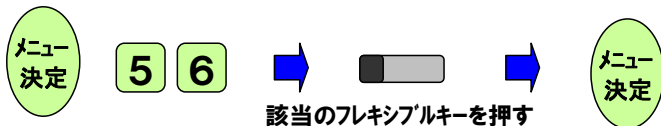
番号種別  
1:外線  
2:特番展開  
3:PBX

## ワンタッチ変更方法

### 電話番号及び短縮番号を変更する場合

○上記の登録操作1、2、 キーで削除し新しい番号入力し4、5、6の操作を行います

### 削除する場合



# 4-1 転送電話

機種や機器バージョンで操作方法が異なります。  
各機器バージョンの確認方法は4-1-1を参照してください。



## SOLVONET-S バージョン2.1まで、SOLVONET-Mの場合

### <転送電話のセット>

- 指定外線転送キーを押す  
※指定外線キーが赤点灯します

### <転送電話を解除するには>

- 転送セット状態の指定外線転送キーを押す  
※指定外線キーのランプが消灯します

## SOLVONET-S バージョン3.0以上、又はSOLVONET-EXの場合

### <転送電話のセット>

- [外線転送\*\*]キーを押す  
※外線転送キーが橙点灯します

追いかけて転送する場合は、転送する優先順に  
[外線転送\*\*]キーを押します。  
1番目の転送先に転送する外線転送キーは、  
橙点灯し、2番目以降のキーは赤点灯になり  
ます。

### <転送電話を解除するには>

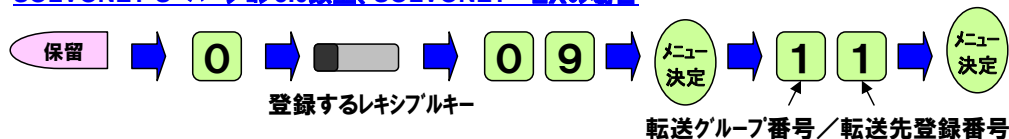
- 転送セット状態の[外線転送\*\*]キーを押す  
※外線転送キーのランプが消灯します

### <指定外線転送キー／外線転送キーの作り方>

#### SOLVONET-S バージョン2.1まで、SOLVONET-Mの場合



#### SOLVONET-S バージョン3.0以上、SOLVONET-EXの場合



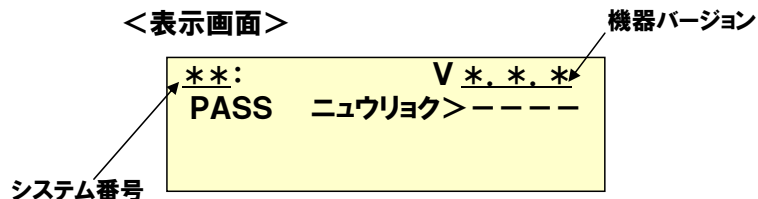
## 4-1-1 機種と機器バージョン確認方法

### <確認方法>

受話器を置いている状態での操作になります



<表示画面>



### <機器種類の見方>

システム番号	機種
•番号30	: SOLVONET-EX
•番号00、0Fまたは表示なし	: SOLVONET-S
•番号10、2F	: SOLVONET-M

### <バージョンの見方>

バージョンV 3. 0の場合

V 3 . 0 . 1

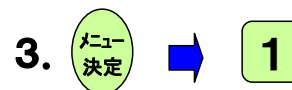
頭2桁の数字になります。

## 4-2 転送電話

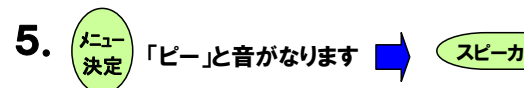
SOLVONET-S バージョン2.1まで  
又はSOLVONET-Mの場合

### ①転送先電話番号登録・変更(変更も同じ操作)

システム管理電話機からの操作になります



### 4. 転送先の電話番号をダイヤルする



○転送先の電話番号を変更する場合は4項で キーで削除し、新しい番号をダイヤルする

転送先番号  
回線--(F--)

<外線1キーを押した場合>

転送先番号  
回線01(f01)

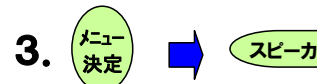
編集メニュー  
1:番号入力  
2:短縮番号選択  
3:登録削除

<電話番号03-1000-1111の場合>

転送先番号  
回線01(f01)

0310001111

### ②転送回線の指定方法



転送回線指定  
回線01(f01)

該当外線に\*マークが表示されます

転送回線指定  
回線01(f01)

\* \* --

# 4-3 転送電話

SOLVONET-S バージョン3.0以上  
又はSOLVONET-EXの場合



## ① 転送先電話番号登録・変更(変更も同じ操作)

1. **7 4** → **1** ~ **8** 転送グループは8グループつくれます  
グループ番号をダイヤルする →

<グループ1を選択した場合>

転送グループ グループ-	転送グループ グループ1	転送電話設定 1:グループ登録 2:転送方式 3:失敗処理
-----------------	-----------------	--
2. **4** → **1** ~ **6** 転送先登録は6箇所まで登録できます  
登録するエリア番号をダイヤルする →

<4:の転送先登録を選択>

転送電話設定 4:転送先登録	転送先<1>
-------------------	--------
3. 既登録番号を削除ボタンで削除し、新しい転送先の電話番号を  
ダイヤルする

転送先<1> 0310001111	<戻る/削除ボタン位置>  戻る/削除	 下カーソルキー
----------------------	---------------------------	-------------
4. 「ピー」と音がなります →

# 4-4 転送電話

SOLVONET-S バージョン3.0以上  
又はSOLVONET-EXの場合



## ② 転送回線の指定方法(着信回線)

1. **7 4** → **1** ~ **8** 転送グループは8グループつくれます  
グループ番号をダイヤルする →

<グループ1を選択した場合>

転送グループ グループ-	転送グループ グループ1
-----------------	-----------------
2. **1:グループ登録を選択して** 押下

転送電話設定 1:グループ登録 2:転送方式 3:失敗処理
--
3. 外線転送する外線キーを押す

該当外線に\*マークが表示されます

転送先<1> **
--------------
4. 「ピー」と音がなります →

# 5. 留守番電話



## 各種メッセージの録音・変更(変更も同じ操作)

1. 留守用「メールボックスキー」を押す  
「サービス番号をどうぞ」ガイダンスが流れます

ガイダンスが流れる

メールボックス番号

メールサービス 件数	MBX97 0/新規 0
---------------	-----------------

2. サービス番号をダイヤルする

0 不在代行  
1 留守応答1  
2 留守応答2

(SOLVONET-Mの場合は14のみダイヤル)

3. (録音)

<留守応答1の場合>

応答MSG 5:再生	MBX97 6:録音
---------------	---------------

応答録音 #:終了	MBX97
--------------	-------

4. 受話器をあげます

5. 受話器よりメッセージを録音

6. 録音終了後 を押す

7. 受話器を戻す

<録音した内容の確認方法>

※上記3項で (再生)押下で録音した内容が確認できます

◎SOLVONET-Mの場合は2項は のみ押す

# 6-1 フレキシブルキーの機能ボタン割付位置



## 【お買い上げ時のフレキシブルキーの機能ボタン割付位置】

※外線キーの数は契約回線数になります。また工事設定内容や機器のバージョンにより割付位置がお買い上げ時と異なる場合もあります。

・SOLVONET-EXの場合

空き	空き	空き	空き	空き	空き
個別メールボックス	通話録音	通話終了	外線転送	空き	共通メールボックス
空き	空き	空き	空き		
外線1	外線2	外線3	外線4		

外線転送用ボタンに使用します。

・SOLVONET-Sの場合

空き	空き	空き	空き	空き	空き
個別メールボックス	通話録音	通話終了	外線転送	空き	共通メールボックス
外線5	外線6	外線7	外線8		
外線1	外線2	外線3	外線4		

「共通メールボックス」は留守用になります

・SOLVONET-Mの場合

外線13	外線14	外線15	外線16	空き	空き
外線9	外線10	外線11	外線12	空き	空き
外線5	外線6	外線7	外線8		
外線1	外線2	外線3	外線4		

SOLVONET-Mはお買い上げ時には機能ボタンは割りついておりません。使用していないフレキシブルキーに割り付けます。(割り付け方は次頁の6-2参照)

## 6-2 フレキシブルキーに機能ボタンの割り付け方



### 機能ボタン登録方法

1. → ボタン押下

外線番号を選択した時の表示画面

ファンクション割付  
F--:

2. 割り付けたいフレキシブルキーを押す

機能を使用していないキーの場合に“未登録”表示されます。

ファンクション割付  
F\*\*:  
未登録

3. 機能番号をダイヤルする (6-3「機能一覧表」から選択)

例 フレキシブルキー13にPB信号を登録する場合

- ボタン押下

ファンクション割付  
F13:  
PB信号

- 4.

- 5.

### 機能ボタン変更方法

○フレキシブルキーに機能を登録する方法と同じ

## 6-3 機能一覧表



### 【機能一覧表】

No.	機能	対応機種	No.	機能	対応機種
01	リダイヤル	全機種	28	メール登録	SOLVONET-M
02	オートリポート	"	29	録音終了	全機種
03	ダイヤルメモリ	"	30	一時停止	SOLVONET-M
04	短縮ダイヤル	"	31	ランプ更新	SOLVONET-M
05	代理応答	"	32	外線発信	全機種
06	秘話会議/会議	"	33	キャリア選択	"
07	夜間切替	"	34	メッセージ通知	SOLVONET-M
08	集中着信	"	35	内線MBX指定	SOLVONET-M
09	外線転送	"	36	内線料金	全機種
10	自己保留	"	37	非通知	"
11	不在設定	"	38	外線代理応答	"
12	PB信号	"	39	内線代理応答	"
13	予約	"	40	キーパッド	"
15	不在転送	"	41	着信履歴	"
16	ACR停止	"	42	ボイスワープ	"
17	クラス切替	"	43	同報MBX	SOLVONET-M
18	指定代理応答	"	44	チェックイン	SOLVONET-M
19	着信ウェイト	"	45	チェックアウト	SOLVONET-M
20	割込み	"	46	モーニングコール	SOLVONET-M
21	フッキング	"	47	停電	全機種
22	料金	"	48	センターメール	"
23	アラーム	"	49	拡張表示	・SOLVONET-S ・SOLVONET-M
24	FAX1	"	50	留守録音	SOLVONET-EX
25	FAX2	"		ガイダンス切替	SOLVONET-S
26	在籍離籍	"	51※	着信拒否	全機種
27	通話録音	"	52※	回線制限	"




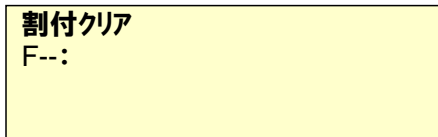

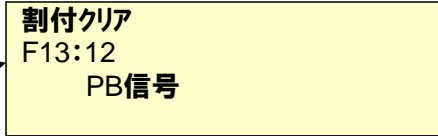

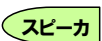
※機能No.50, 51はSOLVONET-Sはバージョン2.0以上から割付可能



## 6-4 フレキシブルキーに機能ボタンの割り付け方



### 機能ボタン削除方法

-  →   ボタン押下 
-  削除するフレキシブルキーを押す  
(例)フレキシブルキー13番にPB信号が割りついていた場合 
- 
  - ・削除できた場合は、「ピー」と鳴ります。
  - ・続けて削除するには、操作手順2からの操作となります。
-  ボタン押下